

調べ案内

作成者: 戸田市立図書館 / 作成日: 2018.2.1



び じょ ぎ はち まん しゃ

美女木八幡社について調べるには

〒335-0021 戸田市大字新曾1707 TEL442-2800 HP <https://library.toda.saitama.jp/>

美女木八幡社は、鎌倉時代に創建されたと伝えられる古社です。この神社に残る銅鐘どうしやうは、戸田市内唯一の国の重要美術品*¹で、埼玉県指定文化財*²にもなっています。この銅鐘には、つくと大水が出るという不思議な伝説も残されています。

※1 重要美術品とは、1933年公布の法律に基づいて認定された準国宝級の美術品のこと（現在、この制度は廃止されています。）で、美女木八幡社の銅鐘は、1948年4月27日付の「官報」号外 p.6 で認定確認できます。

※2 美女木八幡社の銅鐘が埼玉県の指定文化財に指定されたのは、1964年3月27日です。『埼玉県文化財目録』（平成28年3月現在、埼玉県教育委員会、2016）p.62「1 有形文化財」内「(4) 工芸品」で確認できます。

「美女木八幡社」について調べるためのキーワード

美女木八幡社、美女木村、八幡社、佐々目郷、水鐘

オンライン目録(OPAC)、インターネット及び各種データベースを検索する際の参考にしてください。

テーマの棚に行って本を探す

●図書館の本は一冊ずつ分類記号が付いています。棚の本は分類記号の番号順に並んでいます。「美女木八幡社」に関する資料には、以下の分類記号が付いています。本を探すときの目安にしてください。

「美女木八幡社」に関する主な分類記号 ※これがすべてではありません。

069	博物館	175	神社	213.4	埼玉県の歴史
291.34	埼玉県の地誌	388.1	日本の伝説、民話	709.1	日本の文化財

目次

p.2 [創建由来、歴史等について調べる](#)

祭神、祭礼について調べる資料も紹介しています。

p.4 [美女木八幡社の銅鐘について調べる](#)

銅鐘にまつわる伝説について調べる資料も紹介しています。

p.7 [美女木八幡社の石造物について調べる](#)

p.7 [美女木八幡社の絵馬について調べる](#)

◆◆◆◆◆ 創建由来、歴史等について調べる ◆◆◆◆◆

■美女木八幡社の創建由来、歴史、祭礼等神社全般について調べたい場合は、戸田市の歴史、地誌、宗教及び民俗について調べることができる資料を探しましょう。

【戸田市の歴史を調べるための資料】

これらの本は、美女木八幡社について基本的な情報を調べる場合にも活用できます。

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『戸田市史』 通史編 上	戸田市	1986	T213.4	中央2階・戸田市関連郷土資料
	<p>p.502-504「佐々目郷と美女木八幡社」 創建時期及び由来についての記述があります。美女木八幡社に伝存する銅鐘についての説明もあります。</p> <p>p.1125-1127「美女木村の神社」 由来及び歴史について基本的な情報を知ることができます。また、銅鐘、力石、神輿等、美女木八幡社に伝わる物についても触れています。</p>			
『戸田市史』 民俗編	戸田市	1983	T213.4	中央2階・戸田市関連郷土資料
	<p>p.965「村の神」内「表2 現行神社一覧表」 『神社明細帳』*1に掲載されている「現行神社一覧表」の紹介があり、当時の所在地、祭神、社殿等の記述を知ることができます。</p> <p>p.967-968「村の神」内 由来については、『新編武蔵風土記稿』*2及び『神社明細帳』に書かれている内容を紹介しています。銅鐘については『正八幡宮<small>ならびに</small>出現之鐘略縁記』*3に見られる伝承を紹介しています。また、祭礼についても簡単に触れています。</p> <p>p.1332-1333「新編武蔵風土記稿」内 『新編武蔵風土記稿』の活字版が掲載されています。美女木村の神社「八幡社」の項に祭神、由来、歴史、祭礼、銅鐘、末社、別当等の記述があります。</p> <p>p.1354「武蔵国郡村誌」内 『武蔵国郡村誌』*4の活字版が掲載されています。美女木村の神社「八幡社」の項に祭神、祭礼、由来、歴史等の記述があります。</p> <p>p.1355-1357「神社明細帳」 『神社明細帳』の活字版が掲載されています。祭神、由来、社殿、境内にある神社等の記述があります。</p> <p>p.1367-1368「正八幡宮並出現之鐘略縁起」 『正八幡宮並出現之鐘略縁記』の活字版が掲載されています。由来及び銅鐘にまつわる伝承についての記述があります。</p>			
『戸田むかし史ある記』 <small>ふみ</small>	戸田市教育委員会	1983	T213.4	中央2階・戸田市関連郷土資料
	<p>p.68-70「美女木八幡社と水鐘」 祭神、由来、歴史、祭礼、銅鐘等美女木八幡社に関する概要を知ることができます。</p>			
『戸田市史研究』 第1号	戸田市	1977	T213.4	中央2階・戸田市関連郷土資料
	<p>p.9-10 井上誠一「戸田の芸能と民俗」内「下戸田と美女木」 美女木八幡社には、ささら獅子舞の獅子頭三体、及び花笠（写真あり）が残されているとの記述があります。なお、獅子頭の写真（カラー）は、『戸田市立郷土博物館常設展示図録』（戸田市立郷土博物館、1997、p.43）でも確認することができます。</p>			

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『美女木八幡社脇遺跡 第2次発掘調査概要』	戸田市教育委員会	1976	T210.2	中央2階・戸田市関連郷土資料
	1冊 かつての美女木八幡社の堀の遺構を発掘調査したときの報告書です。遺構の位置確認のため、巻末には、明治2年(1869)作成の絵図「八幡宮領御朱印地並境内御除地図」も紹介されています。			

※1『社神明細帳』は、明治12年(1879)6月の内務省の通達によって、埼玉県が作製した管下の神社の明細帳です。昭和20年代までの事項が記録されています。【『戸田市史』民俗編 p.1318「解説」より】

※2『新編武蔵風土記稿』は、文化文政年間(1804-1829)に幕府によってまとめられた武蔵国村々の地誌です(『戸田市史』民俗編 p.1317「解説」より)。『新編武蔵風土記稿』第8巻(雄山閣、1996、p.138)、『新編武蔵風土記稿』6(歴史図書社、1969、p.85)でも内容確認できます。

※3『正八幡宮并出現之鐘略縁記』は、弘化3年(1846)に美女木八幡社の別当寺(「神社に付属して置かれた寺院」(『日本国語大辞典』11、小学館、p.1254))である円通寺によって出版され、札所巡拝の人たちに配布されたものです。美女木八幡社にまつわる伝承が記されています(『戸田市史』民俗編 p.1318「解説」より)。

※4『武蔵国郡村誌』は、明治8年(1875)に各府県が作成し国に提出した地誌です(『戸田市史』民俗編 p.1317「解説」より)。『武蔵国郡村誌』第2巻(埼玉県立図書館、1954、p.122)でも確認することができます。

【戸田市の地誌について調べるための資料】

戸田市の神社について調べる場合は、戸田市及び埼玉県の地誌資料を確認しましょう。

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『大日本地名辞書』 増補版 第6巻	富山房	1980	R291.0	中央2階・参考資料室
	p.525「美女木八幡宮」 美女木八幡社の概要を知ることができます。			
『日本歴史地名大系』 11 埼玉県の地名	平凡社	1993	R291.0	中央2階・参考資料室
	p.209「八幡社」 美女木八幡社の概要を知ることができます。			

【戸田市の神社について調べるための資料】

戸田市の神社について調べる場合は、戸田市及び埼玉県の神社に関する資料を確認しましょう。

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『戸田市の寺社』	戸田市教育委員会	1985	T185.9	中央2階・戸田市関連郷土資料
	p.54-56「八幡社」 『新編武蔵風土記稿』、『武蔵国郡村誌』、『正八幡宮並出現之鐘略縁記』及び『社神明細帳』からの引用で、美女木八幡社の沿革及び縁起を知ることができます。また、所蔵している建造物、彫刻、工芸品の一覧も掲載されています。			
『美女木村八幡社の 神仏分離と神職相続』	戸田市	1984	T175.9	中央2階・戸田市関連郷土資料
	1冊 『戸田市史研究』第6号(戸田市、1984、p.87-112)に掲載された本間勝喜の論文を抜刷したものです。美女木八幡社の神仏分離に伴う騒動について論じたもので、美女木八幡社とその別当寺である円通寺との関係及び歴史についても知ることができます。			
『埼玉の神社』	埼玉県神社庁	1998	T175.9	中央2階・郷土資料架
	p.490-493「八幡社」 由来(『新編武蔵風土記稿』より)、歴史、祭神、祭礼、銅鐘(『正八幡宮並出現之鐘略縁記』より)等美女木八幡社に関する概要を知ることができます。境内配置図も掲載されています。			

【戸田市の民俗を調べるための資料】

民俗学的な資料では、神社に伝わる銅鐘の伝説及び祭礼についての詳細が調べられます。

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『美女木・下笹目の民俗』	戸田市	1985	T213.4	中央2階・戸田市関連郷土資料
	<p>巻頭写真 21 「美女木八幡社の銅鐘、国の重要美術品（昭和30年代）」 銅鐘の写真が掲載されています。境内に吊るされている状態の写真です。</p> <p>p.109 「除夜の鐘、晦日詣り」 八幡社の氏子は大晦日に晦日詣りをするという話が載っています。</p> <p>p.110 「初詣で、初詣り」 元旦に初詣でに行く話が載っています。</p> <p>p.111 「初寄」 1月2日には社務所に集まり新年会をしたという話が載っています。</p> <p>p.132 「鎮守の秋祭り」 祭礼及び神輿についての記述があります。</p> <p>p.135-139 「神社の概観」内 『新編武蔵風土記稿』、『武蔵国郡村誌』及び『正八幡宮并出現之鐘略縁記』の中の美女木八幡社に関する記述と解説が載っています。</p> <p>p.160-164 「獅子舞」 美女木八幡の祭礼等で舞っていた獅子舞についての記述があります。現存している獅子頭（写真あり）の紹介もあります。</p> <p>p.196-197 「口承文芸」内 美女木八幡の鐘に関する伝承が紹介されています。</p>			

美女木八幡社の銅鐘について調べる

■美女木八幡社の銅鐘について調べる場合は、現在、銅鐘を保管している戸田市立郷土博物館に関する資料、戸田市の名所を紹介した資料、文化財に関する資料、及び伝説を紹介した資料を探しましょう。また、前項で紹介した歴史、宗教及び民俗に関する資料でも調べることができます。

【戸田市立郷土博物館に関する資料】

銅鐘の概要及び写真を見たい場合は、戸田市立郷土博物館の展示図録等を見てみましょう。

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『戸田市立郷土博物館常設展示図録』	戸田市立郷土博物館	1997	T069.9	中央2階・戸田市関連郷土資料
	<p>p.20 「鶴岡八幡宮と佐々目郷」内 銅鐘の写真（カラー）が掲載されています。</p>			
『戸田市立郷土博物館だより』第20号 (19号～36号合本内)	戸田市立郷土博物館	1996	T069.6	中央2階・戸田市関連郷土資料
	<p>「美女木八幡社の銅鐘」ページ記載なし 戸田市立郷土博物館の常設展示室に美女木八幡社の銅鐘を展示することになったという記事があります。銅鐘の写真（カラー）も掲載されています。</p>			
『研究紀要』第23号	戸田市立郷土博物館	2013	T069.6	中央2階・戸田市関連郷土資料
	<p>p.55-62 石川達也「美女木八幡社の鐘について」 美女木八幡社で所蔵していた^{まんじ}万治3年（1660）鑄造の鐘に関する論文です。戸田市立郷土博物館にある銅鐘との関係についても触れています。銅鐘が鐘楼に下げられている写真も掲載しています。</p>			

【歴史、名所案内等の資料】

銅鐘については、戸田市の歴史、名所案内等の資料にも掲載されています。

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『戸田の歴史と文化』	戸田市秘書課・市史編さん室	1978	T213.4	中央2階・戸田市関連郷土資料
	p.41 「八幡社銅鐘」 美女木八幡社の銅鐘及び神輿の写真（カラー）を掲載しています。			
『戸田市の観光』	戸田市観光協会	1966	T291.3	中央2階・戸田市関連郷土資料
	p.28 「八幡宮銅鐘」 境内の鐘楼に下げられた銅鐘の写真に掲載しています。			
『わたしたちのとだ』 平成 27・28 年度	中央社	2015	T 291.3	中央2階・戸田市関連郷土資料
	p.62-63 「八まんさまのかね」 市内小学校の社会科副読本に、銅鐘にまつわる伝説が紹介されています。			
『美女木八幡社協遺跡 第1次発掘調査概要』	戸田市教育委員会	1975	T210.2	中央2階・戸田市関連郷土資料
	p.7-8 「おわりに」内 美女木八幡社協遺跡の発掘調査報告書ですが、巻末に美女木八幡社銅鐘の構造についての説明及び計測値が紹介されています。			
『遊歴雑記』 （『江戸叢書』 巻の3に収録）	日本図書センター	1980	R081	中央地下書庫・参考図書
	p.241-243 「美女木八幡宮の古鐘」、p.317-319 「入間郡美女木八幡宮の再遊」 『遊歴雑記』は、大 ^{だい} 浄 ^{じょう} 敬 ^{けい} 順 ^{じゆん} が、江戸近郊の名勝古跡を遊歴して書いた紀行文です。美女木八幡社を訪ねたときの様子及び銅鐘の伝説を紹介しています。			

【文化財に関する資料】

銅鐘については、戸田市の文化財を紹介する資料に掲載されています。また、県指定の文化財及び「重要美術品」を紹介する資料で確認することもできます。

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『戸田市の文化財』	戸田市教育委員会	1975	T709.1	中央2階・戸田市関連郷土資料
	p.11 「美女木八幡宮銅鐘」 戸田市の文化財の一つとして美女木八幡社の銅鐘を紹介しています。簡単な説明と写真が掲載されています。			
『戸田市の 指定文化財』	戸田市教育委員会	1988	T709.1	中央2階・戸田市関連郷土資料
	p.1 「銅鐘」、p.26 「県・市指定文化財一覧」 埼玉県指定文化財の一つとして美女木八幡社の銅鐘を紹介しています。簡単な説明と写真（カラー）が掲載されています。			
『戸田市の文化財』 第3回 特別展	戸田市立郷土博物館	1987	T 709.1	中央2階・戸田市関連郷土資料
	p.8 「銅鐘」 特別展の展示物の一つとして美女木八幡社の銅鐘が紹介されています。簡単な説明と写真も掲載されています。			
『郷土とだ』 創刊号 （創刊号～第5号合本内）	戸田市文化財研究会	1976	T709.1	中央2階カウンター
	p.50-51 「旧美笹地区を中心とした口承文芸」 美女木八幡社の銅鐘に関する伝承を紹介しています。神輿に関する伝承もあります。			

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『郷土とだ』第3号	戸田市文化財研究会	1981	T709.1	中央2階カウンター
	p.11-12 野崎繁「美女木八幡社の神仏分離について」 美女木八幡社に神仏分離を乗り越え現在まで銅鐘があることについての研究報告です。			
『埼玉県文化財目録』 (平成28年3月現在)	埼玉県教育委員会	2016	T703.8	中央2階・郷土資料架
	p.62 「工芸品」内 美女木八幡社の銅鐘の概要、指定年月日、指定番号等を知ることができます。			
『「重要美術品」 認定作品総覧』	日外アソシエーツ	2016	R703.8	中央2階・参考資料室
	p.328 「工芸品・考古学資料」内「銅鐘」 認定日を知ることができます。「重要美術品」に認定されたことは、当時の「官報」※1（昭和23年4月27日号外 p.6「銅鐘」）でも知ることができます。			

※1「官報」の記事は、オンラインデータベース「官報情報検索システム」で閲覧及び複写することができます。中央2階レファレンスカウンターで利用できます。利用方法、複写範囲等詳細は、[こちら「当館で利用できるオンラインデータベース」のページ](#)を参照してください。

【伝説を紹介した資料】

銅鐘についての伝承は、日本の伝説及び民話を紹介した資料に掲載されています。

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『埼玉県の民話と伝説』 北足立編	有峰書店	1977	T388.1	中央2階・郷土資料架
	p.66-69 「戸田市 美女木八幡社の鐘」 美女木八幡社の銅鐘にまつわる伝承が掲載されています。			
『ふるさと埼玉県の 民話と伝説』	千秋社	1982	T388.1	中央2階・郷土資料架
	p.164-165 「沈鐘伝説（戸田市・深谷市）」 美女木八幡社の銅鐘にまつわる伝承が掲載されています。			
ふるさと 『埼玉の民話と伝説』	武蔵野銀行	1977	T388.1	中央2階・郷土資料架
	p.20-21 「美女木八幡の鐘（戸田市）」 美女木八幡社の銅鐘にまつわる伝承が掲載されています。			
『戸田のむかしばなし』	戸田市	1993	T081	中央2階・戸田市関連郷土資料
	p.8-11 「八まんさまの鐘」 美女木八幡社の銅鐘にまつわる伝承が掲載されています。			
『埼玉県伝説集成』 上巻	北辰図書出版	1974	T388.1	中央2階・郷土資料架
	p.426-428 「鐘ヶ淵（その一）戸田市下笹目」 美女木八幡社の銅鐘にまつわる伝承が掲載されています。			

◆◆◆◆ 美女木八幡社の石造物について調べる ◆◆◆◆

■美女木八幡社に伝わる石造物について調べる場合は、調査を実施した戸田市立郷土博物館に関する資料、戸田市の歴史及び神社に関する調査資料、文化財に関する資料を確認しましょう。

【石造物に関する調査資料】

美女木八幡社関連の石造物に関する記述は、「創建由来、歴史等について調べる」の項で紹介した資料の中にもあります。ここではそれ以外の資料を紹介します。

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『研究紀要』第4号	戸田市立郷土博物館	1989	T069.6	中央2階・戸田市関連郷土資料
	p.74-76 金子弘「戸田市の石造文化財」内「美女木八幡社」 美女木八幡社境内にある石造物を紹介しています。神社の由来が記されている「勸進碑」の内容も知ることができます。			
『戸田市の石造物』	戸田市	1980	T213.4	中央2階・戸田市関連郷土資料
	p.99「弘法・石橋・敷石等供養塔」内、p.102-104「水神・その他の神」内、p.109、112-114「記念碑」内、p.121「力石」内、p.147、150「石灯笼」内、p.156-158「鳥居・付額」内、p.162「幟立石」内、p.164-165「手洗石」内、p.171-173「狛犬」内、p.183-185「石工」内 上記ページに美女木八幡社境内にある石造物の紹介があります。			
『埼玉県史料叢書』4	埼玉県	1998	T213.4	中央2階・郷土資料架
	p.479「足立郡美女木村 八幡社」 国立公文書館内閣文庫蔵「府県史料」の内「埼玉県史料」を収録したもので、「社寺之部」に美女木八幡社内にある勸進碑の紹介があります。			

◆◆◆◆ 美女木八幡社の絵馬について調べる ◆◆◆◆

■美女木八幡社に伝わる絵馬等奉納品について調べる場合は、文化財に関する資料を確認しましょう。文化財は、戸田市立郷土博物館で展示されることもあるので展示図録も確認するとよいでしょう。

【美女木八幡社の絵馬が紹介されている資料】

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『戸田の絵馬』 平成24年度企画展	戸田市立郷土博物館	2012	T069.9	中央2階・戸田市関連郷土資料
	p.4「市内に残る絵馬」内 美女木八幡社蔵の「 <small>じんこうこうごう</small> 神功皇后と武内宿禰 <small>たけのうちのすくね</small> 図絵馬」、「 <small>きばむしや</small> 騎馬武者図絵馬」の写真と解説が載っています。			
『祈りと美』 第12回 特別展 (『特別展図録』 第11回～第20回本内)	戸田市立郷土博物館	1996	T069.9	中央2階・戸田市関連郷土資料
	p.20-21「武者絵馬」内、p.22-23「戦争絵馬」内、p.26-27「講中の奉納絵馬」内 美女木八幡社蔵の「神功皇后と武内宿禰図絵馬」、「騎馬武者図絵馬」、「石造天の岩戸絵馬」、「伊勢講太々神楽図絵馬」、「拝み絵馬」の写真があります。			
『戸田市の 指定文化財』	戸田市教育委員会	1988	T709.1	中央2階・戸田市関連郷土資料
	p.15「最上流和算額」 7 美女木八幡社蔵の「最上流和算額」の写真と解説が載っています。			